

(2) 天王台地区

ア. 景観特性・課題

i 住居系土地利用

- ・宅地としての整備が広範囲にわたり行なわれています。
- ・駅の周辺に生産緑地が多いが、営農者の減少に伴い宅地化されつつあります。
- ・旧街道沿いでは、生垣などの続く風情のある家並みが形成されています。
- ・高野山は、都市のオープンスペースとなる農地が残されているものの、道路の幅員は狭く、敷地の小さい家が建て詰まっています。このことから、地区計画による景観に配慮した都市基盤整備事業を進めています。
- ・住宅地と、周辺の農地や集落地などが混在しており特色の見えにくい地区となっています。

ii 商業系土地利用

- ・天王台駅と東我孫子駅の2駅があるものの、その結びつきは弱く、地区の商業地としてのまとまりある景観は形成されていません。

iii 駅前の土地利用

- ・天王台駅は、駅前広場を含めデザイン的にも整えられています。

iv 工業系土地利用

- ・日本電気我孫子事業場が立地し、敷地の緑化や色彩の配慮などにより良好な景観を形成しています。

v その他

- ・市役所や市民会館などの公共施設は、外壁の劣化や退色などにより景観の阻害要因となっています。また、入口の記名サインも時間の経過による退色や損傷により景観の阻害要因となっています。
- ・親水広場や鳥の博物館の建物デザインは、周囲に独特の景観を醸しだしています。
- ・川村学園が周辺の自然と調和した景観を形成しています。
- ・我孫子ゴルフ倶楽部、五本松公園、岡発戸市民の森では、まとまった一団の緑を提供しています。
- ・岡発戸・都部の谷津は、周辺の樹林地とともに豊かな自然景観を形成しています。
- ・手賀大橋付近は、まちの出入り口にあたる重要なポイントであるものの、広告物などが景観的阻害要因となっています。
- ・日立総合経営研修所が、地形を活かすとともに敷地の緑化や配棟の工夫などにより良好な景観を形成しています。

●天王台地区景観特性図



イ. 景観形成の方針

■天王台地区景観形成のテーマ

水と緑と文化が暮らしを育むまち

■天王台地区景観形成の方針

- i 市街地の背景となる水と緑が一体となった景観づくり
- ii 緑豊かで快適な市街地の景観づくり
- iii 新しい文化の創造・発進の拠点づくり
- iv 南北の結びつきを強める都市の骨格づくり

i 市街地の背景となる水と緑が一体となった景観づくり

- 水辺景観形成エリア
(手賀沼)
 - ・手賀沼と田園、斜面林の一体的な自然環境の保全、育成に努め、親水空間においては自然的景観と調和した整備を行います。

- 緑の景観形成エリア
(田園景観、斜面林)
 - ・市街地を縁どる斜面林と田園景観が一体となった緑の景観の保全、育成に努めます。

- 農村集落地景観形成
エリア
(柴崎)
 - ・農地などの保全とともに、都市計画道路沿いの屋外広告物の抑制に努め、良好な農村集落地景観の形成を図ります。

- みどりの核
(我孫子ゴルフ倶楽部、五本松公園、岡発戸市民の森、岡発戸・都部の谷津)
 - ・まとまった一団の緑を核として遠景に配慮した緑の景観づくりを行います。生き物の生息できる緑の環境保全、育成を図ります。

- 営み帯^{おび}
(手賀沼ふれあいライン)
 - ・手賀沼への眺めに配慮し、自然と調和した沿道景観の形成を図るため、屋外広告物の適切な誘導を行います。

ii 緑豊かで快適な市街地の景観づくり

- 市街地景観形成エリア
(天王台駅周辺)
 - ・緑化の推進、オープンスペースの創設などにより、うるおいとゆとりのあるまちなみ景観の形成を図ります。

- 集落地景観を活かした市街地景観形成エリア
(旧水戸街道沿い、高野山、下ヶ戸)
 - ・地域の特色をつくり出している農地や生垣、寺社のある環境の保全及びこれらの集落地景観を活かし、一体となったまちなみ景観の形成を図ります。
 - ・寺社における景観上重要な樹木などの保全、活用を図ります。
 - ・高野山東地区においては、安心とゆとりのある住宅地をの形成と手賀沼沿い斜面林の保全・再生を図ります。→高野山東地区地区計画

- 地区拠点
(天王台駅周辺)
 - ・商業、業務機能の充実を図り、個性的な景観形成を図ります。

iii 新しい文化の創造・発進の拠点づくり

- シンボル景観拠点
(公共施設、文化施設など)
 - ・公共施設などを主体に、地域の先導的な景観形成を図りアピール性の高い文化の拠点づくりを行います。
 - ・人々に開かれた開放的な空間づくりを行います。

- シンボル景観拠点
(日本電気我孫子事業場、川村学園周辺、日立総合経営研修所)
 - ・周辺からの眺めに配慮し、敷地内のオープンスペースの緑化や建築物などの適切な景観誘導を行い、産業、研究教育活動の中心となる拠点として、自然景観と調和した良好な景観形成を図ります。

iv 南北の結びつきを強める沿道の景観づくり

- 架け橋^{おび}
(県道船橋我孫子線)
 - ・人々の結びつきと市街地から水辺や田園空間へと導くために、連続性のある沿道景観形成を図ります。
 - ・沿道の公共施設、歩道とあわせて一体的な景観形成を進め、主要な交差点においてはスポット的な景観整備を行います。
 - ・市の入口にあたる橋梁、橋詰めなどの魅力的なデザインによるゲートとして景観の演出を図ります。→公共サインの設置

